

## ご挨拶



公益社団法人 東京都ペストコントロール協会  
会長 清水 一郎

『都民の皆様にも少しでもお役にたつ公益社団法人東京都ペストコントロール協会でありたい』と、この思いを常に持ちながら、先輩方に教えを頂き、正会員、賛助会員が力を合わせ創立50年という節目を迎えることができました。

各会社単体ではできない事業に取り組むために、ペストコントロール業界の知名度アップ・地位の向上をめざすために、そして都民にとって有益な、信頼される協会となるために多くの事業、課題に取り組んで参りました。先輩方がこの団体を立ち上げるにあたってのご努力、そして強い思いを引き継いできたからこそ50年目を迎えられたと思います。

本記念誌にはその歴史の一端が掲載されております。この50年の間に対象となる有害虫・獣種も変化があり、協会にはあらゆる相談が年間8000件も寄せられています。その時その時で対応を迫られて来たと思います。

世界的に気象変動が大きくなり、地球温暖化が進めば、今までに見たこともない害虫獣が広範囲に、しかも多岐にわたり発生するおそれは高くなります。

協会運営にあたってはこれまでも、そしてこれからも行政、都民の皆様との連携は欠かせません。正しい情報の入手を早くして、お互いに情報交換・情報を共有することにより現状把握をした上で、永年にわたり身につけた防除技術を駆使して早急に対応策を講じることが必要であります。

そこで協会では感染症予防衛生隊をはじめ、会員が緊急対応できる準備、訓練、備蓄を怠らず、協会主催の各種の研修会、講習会で勉強を重ね、都民の安全・安心を守るために活動しております。また、害虫相談所では有害虫・獣の防除に関する相談に合わせて、直接都民の皆様から貴重なご意見をいただき協会の運営の参考とさせていただいております。

今後もより技術力を高め、感染症をはじめ害虫獣の対応を即時に行い、都民の皆様の信頼を得て、60・70・100年と協会活動を継続していけるように、行政の方々、研究者の方々等、多方面の方々に今までの感謝をすると共に、今後のご協力もお願い申し上げます。

最後に、多くの方から「公益社団法人東京都ペストコントロール協会のおかげで助かりました」と感謝され続けることを目標に我々は努力致します。